

平成 26 年度

運営に関する計画

(中間反省)

大阪市立新巽中学校

大阪市立新箕中学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
- 平成26年度末の生徒アンケートで「まじめに授業に取り組んでいる」について、「良く当てはまる(やや当てはまる)」と答えた割合を65%以上にする。(カリキュラム改革) - 平成26年度末の生徒アンケートで「授業はわかりやすい」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答えた生徒の割合を65%以上にする。(マネジメント改革) - 平成26年度末の生徒アンケートで「授業内容・方法を工夫している」と答える生徒の割合を65%以上にする。(カリキュラム改革) - 平成26年度末の生徒アンケートで「授業でわからないところは先生に質問しやすい」と答える生徒の割合を60%以上にする。(カリキュラム改革)	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【学力の向上“授業内容（わかる授業）の充実”】 国語、数学、英語、理科において、年間を通じて計画的に理解度に応じた授業を実施する。 (カリキュラム改革)		B
指標 ・生徒アンケートで「授業でわからないことなど気軽に先生に質問することができる」と答える生徒の割合を60%以上にする。		
取組内容②【学力の向上“各教科の指導力の向上”】 研究授業を年間で一人1回以上行い、教員一人一人の授業力の向上を図る。 (カリキュラム改革)		B
指標 ・研究協議をともなう研究授業を年間9回以上、また、研究授業を1年間に20回以上実施する。		
取組内容③【学力の向上“自主学習習慣の確立”】 各教科での宿題、課題、作品等の提出物の指導を徹底する。 (カリキュラム改革)		B
指標 ・各教科での提出率を100%をめざす。		
取組内容④【学力の向上“読書活動の充実を図る”】 各学年で「読書活動」を計画的に実施する。 (カリキュラム改革)		C
指標 ・校内アンケートで「学校の図書館をよく利用している」と答える生徒の割合を40%以上にする。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
① 単元ごとや課題ごとに、数学では分割授業を、英語、国語、理科ではティームティーチングを取り入れ、生徒らへの支援に取り組んでいる。		

- ② 1学期は6月に音楽科と理科の研究授業を、9月には道德の研究授業を実施した。
- ③ 各教科で生徒らに取り組みやすい内容の宿題や課題、作品の作成に取り組みを続けている。
また、生徒への声掛けや保護者への連絡など家庭との連携を図っている。
- ④ 1年で2学期に読書の時間を設け、読書活動の定着につながる取り組みを実施している。

今後への改善点

- ① 今後も分割授業やチームティーチングを実施していく。
- ② 2・3学期も引き続き研究授業と研究協議を実施する計画である。
- ③ 放課後やテスト前の補充授業を引き続き実施し、授業についていけない生徒らへの支援をする。
- ④ 生徒らが興味を持ちそうな書籍の精選を行っている。

大阪市内新巽中学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
- 平成26年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめや問題行動について、解決に向けて対応している割合を100%にする。(カリキュラム改革) - 平成26年度末の生徒アンケートにおける「規則正しい生活を心がけている」と答える生徒の割合を65%以上にする。(カリキュラム改革) - 平成26年度末の生徒アンケートにおける「学校のルールを守るよう心がけている」と答える生徒の割合を80%以上にする。(カリキュラム改革) - 平成26年度末の生徒アンケートにおける「学校では生命の大切さや仲間の大切さを学ぶ機会が多い」と答える生徒の割合を70%以上にする。(カリキュラム改革)	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【その他“いじめ・問題行動への対応”】 相談活動を充実させ、生徒の変化等の早期発見・早期対応に努め、未然防止に努める。また、暴力行為のない学校づくりをめざす。(カリキュラム改革)	B
指標 - 年間に2回以上カウンセリング活動を実施したり、毎週金曜日に「一週間の振り返り」を実施し、実態把握を行い未然防止、早期発見・指導に努める。 - 生活実態調査を実施し、生徒理解に努める。	
取組内容②【その他“基本的生活習慣の確立”】 朝のスタートを大切にし、時間を守る意識を高める。(カリキュラム改革)	B
指標 - 校内アンケートで「遅刻をしない」と答える生徒の割合を70%以上にする。 - 生徒会活動を活発にし、「朝のあいさつ運動」などの自主活動を行う。	
取組内容③【その他“規範意識の育成”】 「遅刻、服装、忘れ物」等の指導を通して、自律した生徒の育成を図る。(カリキュラム改革)	B
指標 - 校内アンケートで「学校のルールを守っている」と答える生徒の割合を昨年度より増やす。 - 授業規範について、講師を招聘して研修会を年1回実施する。	
取組内容④【道徳心・社会性の育成“道徳教育の充実”】 心の葛藤を通して、よりよい生き方を求める態度を養う。(カリキュラム改革)	B
指標 「道徳」の時間を100%確保することをめざし、「道徳」の研究授業と研修会をそれぞれ年間1回以上は実施する。	

取組内容⑤【その他“豊かな心の育成”】 芸術を身近に感じ親しむことで、豊かな感性を育む。(カリキュラム改革)	
指標 ・年に1回は、本物の舞台芸術を体験させる。 ・読み物教材の指導時数を昨年度よりも増加させる。	A
取組内容⑥【その他“大阪らしさを活かした取組”】 大阪市内の施設や史跡を実際に訪れることで、「郷土おおさか」を愛する心を育てる。(カリキュラム改革)	B
指標 ・フィールドワークや調べ学習を行い、能動的な学習態度を養う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
① 各学期ごとに教育相談期間を設定し、生徒理解に努めるとともに、教師・生徒相互の信頼関係の構築につなげることができている。 ② 生徒会活動では、本部役員や生活委員会が主体となって「朝のあいさつ運動」に取り組むことができている。 ③ 服装・頭髪の決まりについては、全校集会や学年集会で身だしなみをチェックさせ、決まりを守る意識を高めさせている。 ④ 各学年で副読本などを使用し、道徳の授業に取り組んではいるものの、行事などの取り組みで学活・総合の時間を使っていることも多く、100%の時間の確保は難しい現状である。 ⑤ 10月4日（土）に古典芸能（狂言、落語）の芸術鑑賞を行った。生徒たちも興味を持って鑑賞する態度が見られた。 ⑥ 2年生で2月に大阪市内をめぐるフィールドワークを計画中である。	
今後への改善点	
① 今後、実施予定の「生活実態調査」の結果もふまえ、次年度以降の取り組みについても検討していきたい。 ② 登校遅刻をする生徒は限定される傾向にある。生活習慣の改善を促す等、継続して指導していく必要がある。 ③ 「チャイムが鳴ったら着席する」「教科書やノート等の用意をきちんとする」「私語をしない」	

等の授業規律を順守しようとする意識が低い生徒が見受けられる。外部講師による研修会の開催も視野に入れ、自律心を持つ生徒の育成に努めていきたい。

- ④ 引き続き「道徳」の時間確保に各学年とも努めていくとともに、道徳教育推進担当教員による公開授業と研修会を実施する予定である。来年度も音楽や演劇などの鑑賞を実施したい。それに向けて、生徒たちの興味・関心を引く鑑賞団体の精選などを行いたい。
- ⑤ 大阪市内の施設や史跡での学習に際し、事前学習などの実施を予定している。

大阪市新箕中学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
- 平成26年度末の校内アンケートにおいて「朝食を毎日食べる」生徒の割合を前年度より高める。 (カリキュラム改革) - 平成26年度末の校内アンケートにおいて「保健だよりを読んでいる」生徒の割合を前年度より高める。 (カリキュラム改革)	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【健康・体力の保持増進 “食育の充実”】 食育だよりの定期発行や、講師を招いての講話を行い、食の大切さに対する意識を高める。 (カリキュラム改革)		B
指標 ・校内アンケートで「健康のために食事を好き嫌いせず、残さず食べるように気をつけている」と答える生徒の割合を昨年度より増やす。		
取組内容②【健康・体力の保持増進 “体力向上への支援”】 体育の授業時に「体力づくりトレーニング」を継続的に行う。 (カリキュラム改革)		B
指標 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査で、昨年度を上回る項目を増やす。		
取組内容③【道徳心・社会性の育成 “男女共生教育の推進”】 視聴覚教材を効果的に用いて「性教育」の実践を行い、命の大切さに対する意識を高める。 (カリキュラム改革)		B
指標 ・校内アンケートで「命の大切さについて学ぶ機会がある」と答える生徒の割合を高める。		
取組内容④【健康・体力の保持増進 “健康な生活習慣の確立”】 保健だよりを定期的に発行し、自己管理能力を向上させる。 (カリキュラム改革)		B
指標 ・校内アンケートで「健康に気をつけている」と答える生徒の割合を昨年度より増やす。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
① 1年生に給食が導入され、食育だより等情宣の機会は増した。講師を招いてのとりたて授業については実施していない。		
② 毎時間、補強運動を継続し実施し、体力向上を図っている。		

- ③ 学年実態に合わせ、副読本を使用したり、外部の団体を招へいしたりして、性に関する指導に努めている。
- ④ 保健だよりを定期的に発行している。内容は適宜生徒らが自ら健康管理するために役立つものを選定している。しかし、実際に実践するためには家庭の協力が不可欠である。

今後への改善点

- ① 小・中連携等も視野に入れて、管理栄養士によるとりたて授業を来年度は計画したい。
- ② リーダーを中心に自主的に行えるようにしていく。
- ③ 今後も引き続き、学年での取り組みを実施し、命の大切さに対する生徒の意識を高めていきたい。
- ④ 生徒自身が自分の生活習慣をふりかえることができるような取り組みをつくる。